

# 平成30年度 農業科活動報告

喜多市立上三宮小学校



## 〈種まき〉

4月、譲屋育苗センターに5・6年生が種まきに出かけました。支援員の方たちから作業手順を教えてくださいました。

- ① 定規のような物を使って、土を水平に均します。
- ② 消毒液をかけます。
- ③ 種もみをまきます。
- ④ 土をかけます。

秋の収穫感謝祭で食べるおにぎりのお米がおいしくできるといいなあ、と思いました。



## 〈田植え〉

5月、5・6年生が定盤で筋付けをした後、全校児童が田植えをしました。種まきをして大きく育った苗を植えました。

筋が交差するところに、苗を3つずつ植えるようにご指導いただいたのですが、多いところや少ないところもありました。

土に足を取られて転倒する児童もいて、どろんこ祭りのような姿に笑い声が絶えませんでした。



## 〈稲刈り〉

10月、稲刈りをしました。

全校児童が、けがをしないように気を付けながら、稲刈り鎌で一株一株丁寧に刈りました。稲刈り終了後、刈り取った稲の束を学校に持ち帰り鉄棒で干します。今年は、自分たちで脱穀をします。自分たちで脱穀した米が、収穫祭のおいしいおにぎりになるのが、とても楽しみです。



## 〈脱穀〉

11月全校生で、足踏み脱穀機と唐箕を使って脱穀に挑戦しました。農業科支援員の方の説明を聞いた後、6年生から順に挑戦しました。稲が脱穀機にからまってしまうように支援員の方に補助してもらいながら、しっかりと両手で持って脱穀しました。一生懸命に足踏みをして脱穀機を回し、籾殻があつという間に取れていく様子を見ながら、何度も何度も脱穀に挑戦していました。

脱穀した後は、唐箕をつかって塵と籾殻を選別しました。籾殻や塵が分かれて出てくる様子を興味深く観察しながら、意欲的に取り組みました。自分たちが一生懸命に手をかけたお米を、収穫祭でおにぎりにして食べることがますます楽しみになりました。



## 〈収穫祭〉

11月、全校児童が畑で育てた野菜を5・6年生が調理して収穫祭をしました。

5・6年生10人が、女性の農業科支援員のご指導をいただきながら、いも汁の調理をしました。おにぎりは全校生で握りました。

「感謝の集い」で、お礼の言葉を述べた後、各学年で農作物を育てたまとめの報告をしました。その後、おにぎりとお芋汁をみんないただきました。農業科支援員や保護者の方は「おいしい、おいしい。」と言って食べていました。



## 〈しめ縄ない〉

12月、今年は学校で脱穀をしたわらがたくさん残りました。そこで、校長先生が遊樹館の館長さんをお願いをして、しめ縄ないを教えてくださいただけになりました。4～6年生の22人が挑戦しました。初めはうまくできませんでしたが、しばらく練習しているとみんな上手になえるようになってきて、館長さんや指導の先生方から筋がいいと褒められました。全員がしめ縄を作ることができました。家に飾って新年を迎えるのが楽しみです。